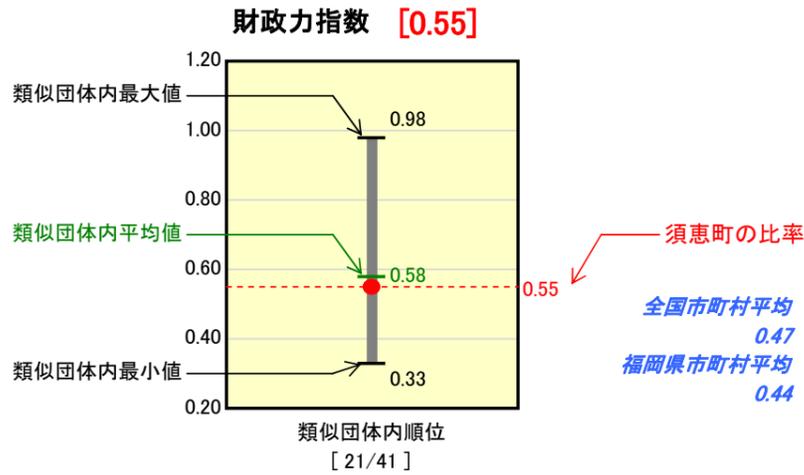


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

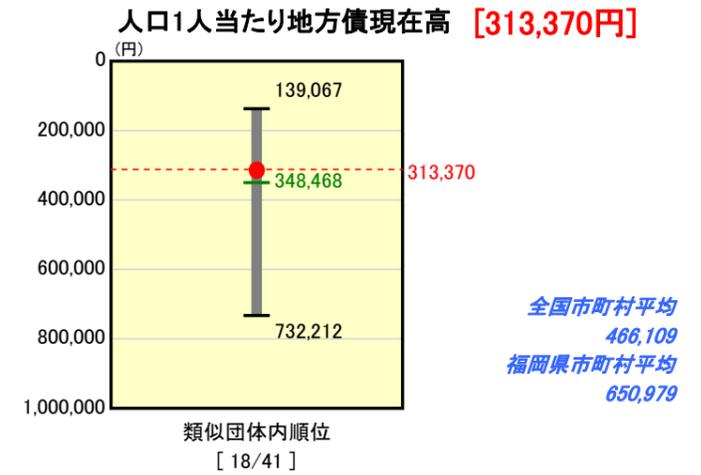
福岡県 須恵町

人口	25,655 人(H17.3.31現在)
面積	16.33 km ²
歳入総額	7,146,763 千円
歳出総額	6,864,848 千円
実質収支	281,563 千円

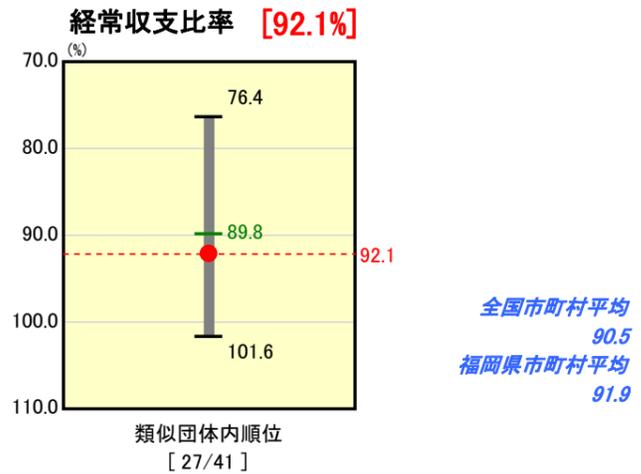
財政力



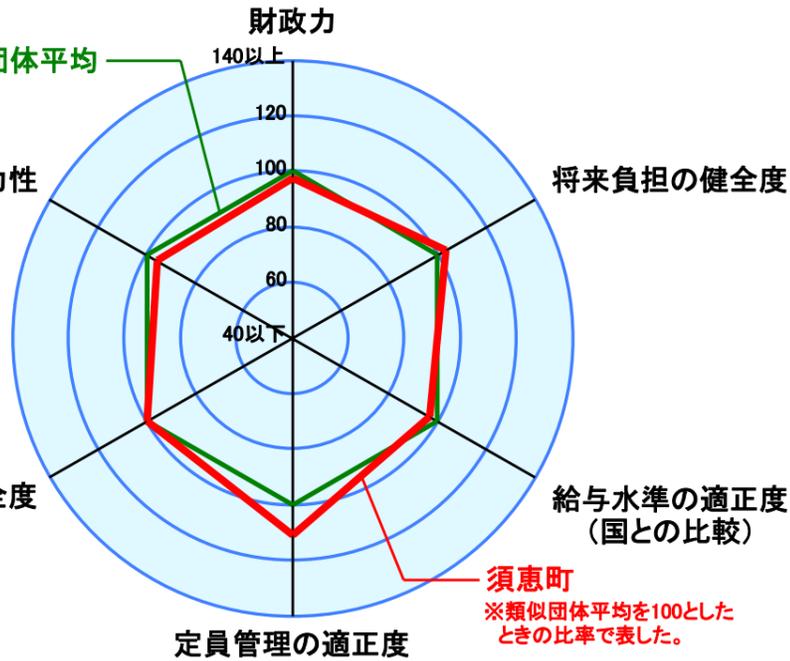
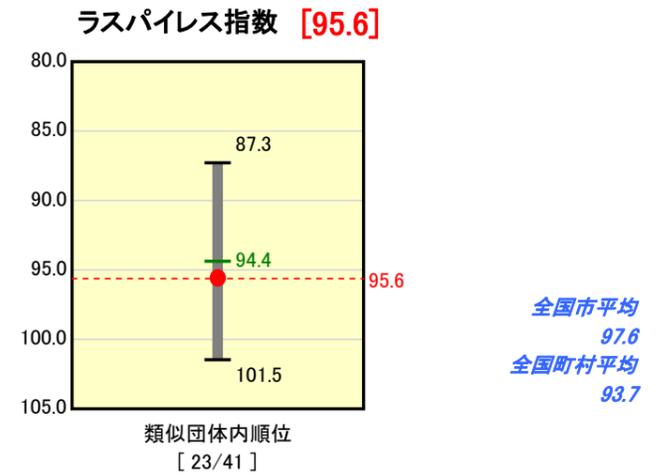
将来負担の健全度



財政構造の弾力性

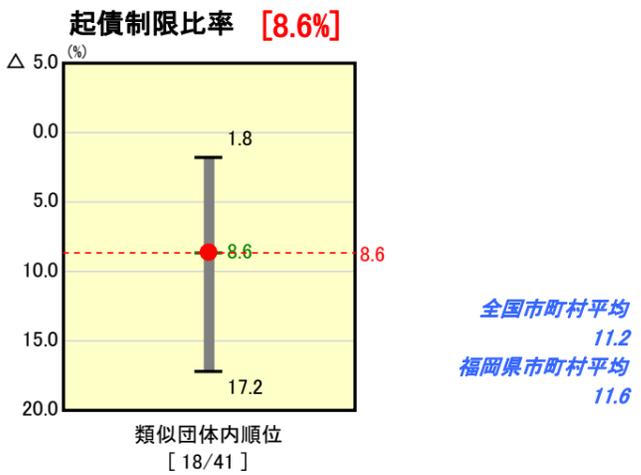


給与水準の適正度(国との比較)

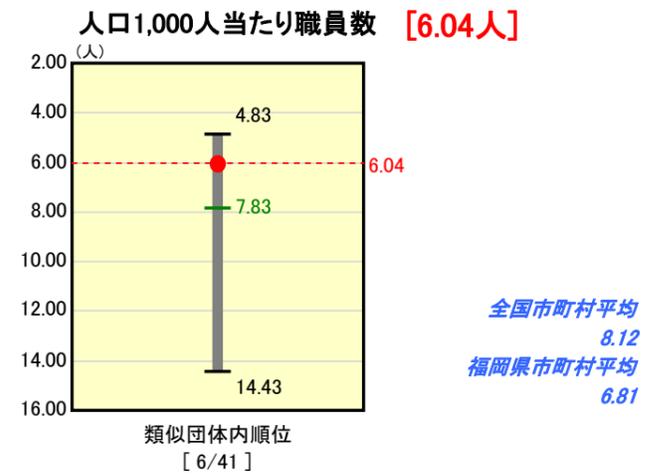


※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

公債費負担の健全度



定員管理の適正度



分析欄

○財政力指数
ここ3年間で連続した伸びを見せているが、長引く景気低迷による個人・法人関係の減収などから、0.55と類似団体平均を下回っているため退職者不補充等による職員数の削減による人件費の削減(5年間で6%減)、歳出の徹底的な見直し(5年間で5%減)を実施し、経常経費の抑制に努める。

○経常収支比率
14年度82.4%、15年度84.1%で、16年度は92.1%と90%を超えており、税収の伸び悩みと地方交付税の削減等、経常一般財源の確保が非常に困難な中、歳出面においては、特別会計への繰出金、一部事務組合負担金の増などの要因で年々財政の硬直化が顕著になってきている。「集中改革プラン」に掲げたとおり、職員定数の減(5年間で10%)による人件費の抑制、事務事業の見直し、補助金の削減等行財政改革の確実な実行により、歳出の経常経費の削減を図る。

○起債制限比率
類似団体並の比率であり、過去からの起債抑制策により、元利償還金の増加は抑えられ、平成17年度をピークに減少に転ずるものと見込まれるが、今後とも新規発行の抑制に努めていく。

○人口1人当たり地方債現在高
近年大規模な起債充当事業が終了し、現在のところ類似団体平均を下回っているが、今後とも新規の地方債発行の抑制により、類似団体平均を上回ることがないよう努める。

○ラスパイレス指数
旧来からの給与体系により類似団体平均を1.2ポイント上回っている。そのため給料表の構造を見直し(8級制から7級制)の措置を講じることで、ラスパイレス指数の抑制に努める。

○人口1,000人当たり職員数
過去からの新規職員採用抑制策により類似団体平均を大幅に下回っている。今後は、平成18年度を初年度として平成21年度末までにさらに現在の職員定数の10%、17人削減を目標とする。